

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

## \* 井上四郎資料 6 (大正・昭和の地図の寄贈)

東京天文台に大正から昭和にかけてお勤めであった井上四郎氏のお孫さんにお目にかかり貴重な資料をたくさん寄贈いただいているが、今回は天文学に直接関係ないが、とおっしゃりながら大正・昭和の頃のいろいろな地図をご寄贈いただいた。

確かに天文情報センターのアーカイブ室でアーカイブするようなものではないかもしれないと判断に迷ったが、当時の世相を色濃く反映した資料である、とにかくいただくことにした。当時の新聞の付録として配布されたものが多い。不要なら捨てていただいて結構と言われたが、貴重な資料であることに変わりはない。

今回寄贈いただいた地図は、

- 1) 大日本新名勝遊覧地図 (東京日々新聞付録) 昭和6年1月1日発行
- 2) 大日本交通全図 (東京日々新聞付録) 大正14年1月1日発行
- 3) 東亜現勢大地図 (東京朝日新聞社撰) 昭和13年9月1日発行
- 4) 東亜現勢鳥瞰図 (東京朝日新聞社編) 昭和13年4月22日発行
- 5) エチオピア及隣接英仏伊植民地最新地図 (朝日新聞社特撰) 昭和6年10月1日発行
- 6) 江蘇浙江交通明細地図 (上海日本堂発行) 昭和12年8月25日発行
- 7) 最近支那大地図 (文彰堂発行) 昭和12年8月訂正7版  
附 満州国 上海 南京市街図
- 8) 大東亜共栄圏地図 (国民新聞社編) 昭和16年12月23日発行
- 9) 時局重要地図 (富士新年号付録) 昭和14年1月1日発行
  1. 支那経済、交通総図
  2. 支那重要地、経済、交通図
  3. 満州国経済、交通図
  4. 満ソ連邦国境詳図
  5. 最新新ソヴィエト聯邦全図
  6. ヨーロッパ州全図
  7. 中部ヨーロッパ明細図
  8. 北部支那
  9. 中部支那
  10. 南部支那
- 10) 世界現勢大地図 (東京日々新聞編纂) 昭和11年1月1日 (左から右への文字列)
- 11) 最新世界地図 (和甲書房発行) 昭和10年2月10日発行

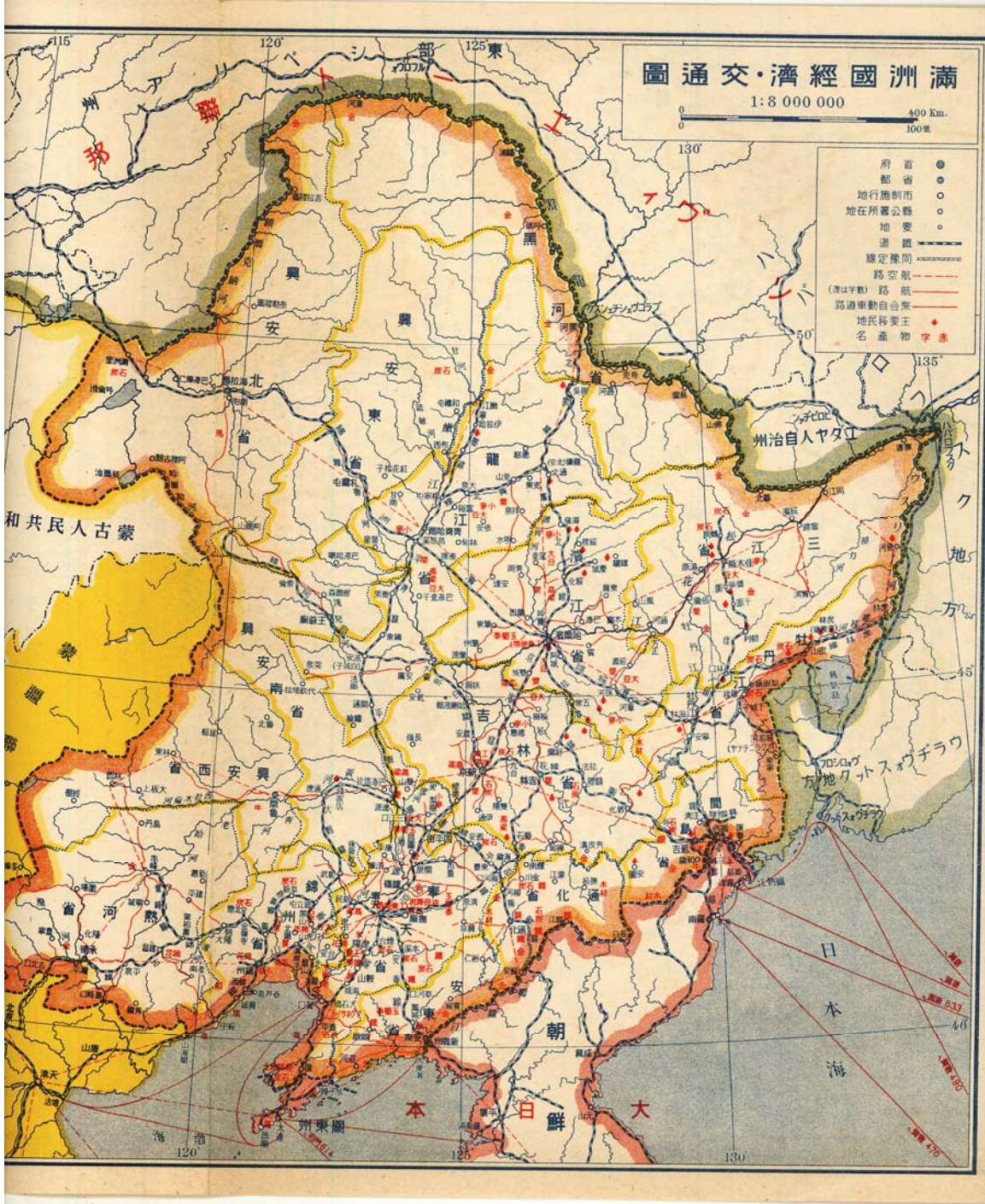
- 1 2) 最新東京地図(東京日日新聞付録)大正 14 年 11 月 10 日発行
- 1 3) 最新大東京地図 (東京日日新聞附属) 大正 14 年 9 月 15 日発行
- 1 4) 大東京最新明細地図 (其二) (東京日日新聞付録) 昭和 7 年 10 月 1 日発行
- 1 5) 大東京最新明細地図 (其一) (東京日日新聞付録) 昭和 7 年 11 月 1 日発行
- 1 6) 模範新大東京全図 (文彰堂発行) 定価 40 銭 昭和 8 年 4 月 15 日発行
- 1 7) 最新日滿大地図 (東京朝日新聞社特撰) 昭和 9 年 1 月 1 日発行

これらの地図は大きく、また大きさが様々でありスキャンして取り込むことが難しい。とりあえずスキャナーで取り込める大きさの例を紹介する。



これらの寄贈いただいた地図は、図書室で管理するか、またしかるべき資料館に保存管理をお願いするか検討が必要であるが、大正 4 年に建設された 1 号官舎の保存と有効利用に関することから始まったお付き合いであり、「星と森と絵本の家(仮称)」のどこかに展示する事も考えられるが、これらは日本が植民地政策をとっていたころの産物であり、新聞社が応援していた事も伺えることから、慎重な扱いが必要である。

地図の 1 例を示すが、これは満州国の地図であり、日本の強い影響力の元に傀儡政権をつくり中国から独立させた国家でありこのような地図の存在自体が帝国主義の植民地主義の現われであり、天文学の中核機関の国立天文台で扱うものではないが、歴史の 1 ページという意味はある。



滿洲國經濟交通圖

1:8 000 000

0 100 200 300 400 Km.

- 府首 ●
- 都省 ○
- 地行地制市 ○
- 地在所署公縣 ○
- 地要 ○
- 道區 ————
- 線定際國 ————
- 路空航 - - - - -
- (漢は字數) 路底 ————
- 路通車動自合業 ————
- 地民將要主 ◆
- 名產物 字赤

和共民人古蒙

州治自人ヤタリ

地方地ヲスオチラウ

日本海

大日本朝鮮